



補助グリル

形名

P-100GLB2

据付け・取扱説明書

この補助グリルはダクト用ロスナイ・ダクト用換気扇（中間取付形）の補助給排気グリルとして使用するものです。

■据付けを始める前に、この据付け説明書をよくお読みになり、正しく安全に据付けてください。

■据付けは販売店・工事店様が実施してください。

据付け終了後は、必ずこの説明書をお客様にお渡しください。

■ご使用前に「安全のために必ず守ること」を確認して、正しくお使いください。

■お読みになった後は、お使いになるかたがいつでも見られるところに保管してください。

安全のために必ず守ること

●誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で説明しています。



指示に従い
必ず行う

注意

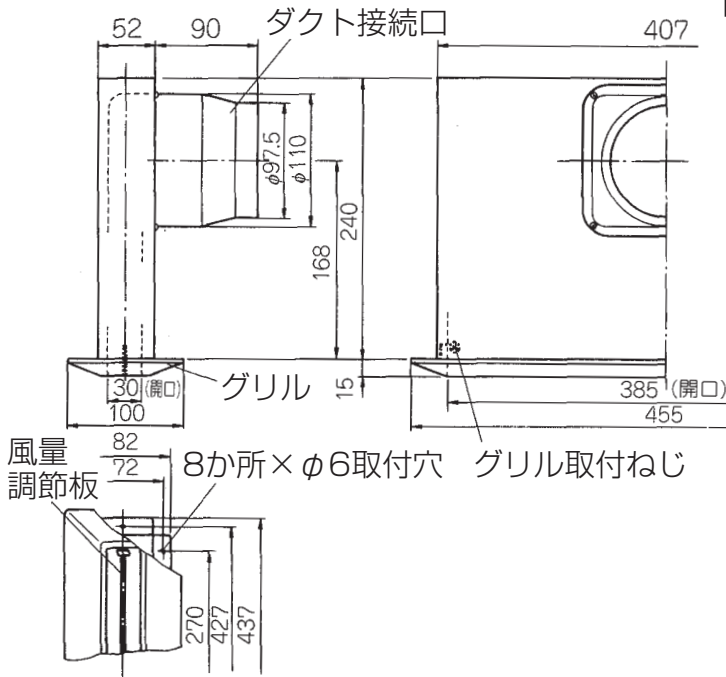
誤った取扱いをしたときに軽傷または家屋・家財などの物的損害に結びつくもの

- 据付けは十分強度のあるところを選んで確実に行う（落下によるけがの原因）
- 据付けまたはお手入れの際は、手袋を着用する（端面などでけがの原因）

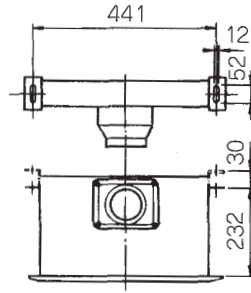
お願い

- 高温（40℃以上）になるところに据付けないでください。（グリルが変質する原因）
- 台所など油煙のかかるところに据付けないでください。（グリルが変質する原因）
- 浴室・洗面所など湿気の多い場所には据付けないでください。（グリルが破損する原因）
- グリル・風量調節板の表面は、植毛処理されています。据付けおよび風量調節の際に汚れないようにしてください。（油類は清掃できません）

外形寸法図



■天吊金具(付属部品)取付位置



付属部品

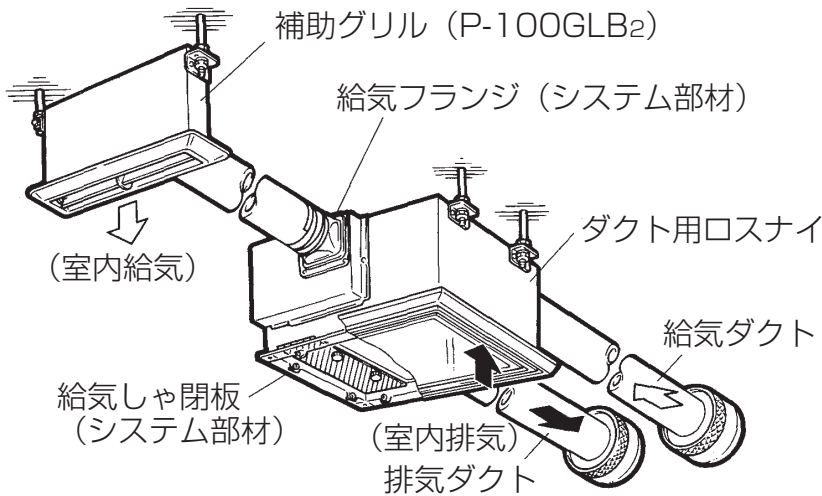
- 風量調節板……………1個
- 天吊金具……………2個
- 天吊金具取付ねじ…4本
- 木ねじ……………8本

適用ダクト (お客様手配)

- 塩化ビニール管 } φ100
- 鋼板管 } (4番管)
- アルミスパイラルダクト

単位 (mm)

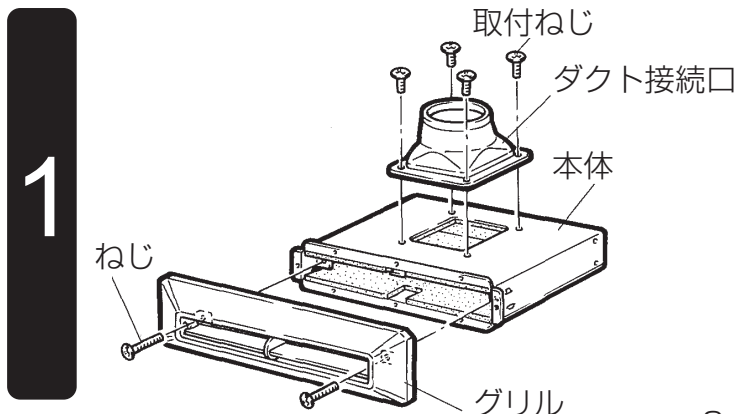
据付例



※補助グリルとダクト用ロスナイ(ダクト用換気扇)までの距離が500mm以下の場合、フレキシブルダクトをご使用ください。

据付方法

本体の据付けには天吊金具を使用してアンカーボルトで吊り下げる方法と野縁に据付ける方法があります。



グリルとダクト接続口を取りはずす

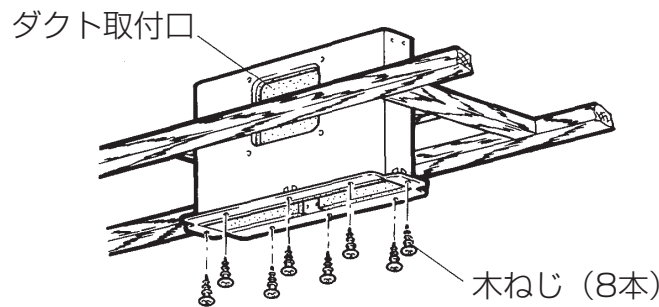
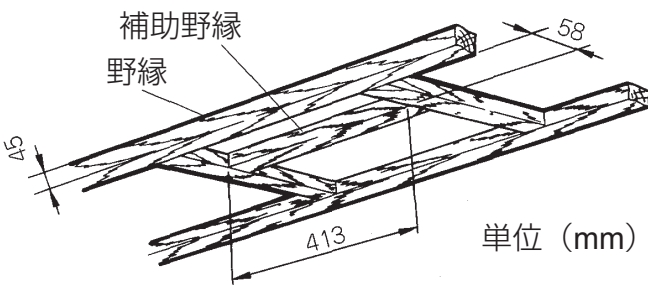
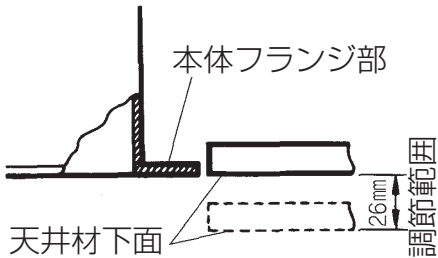
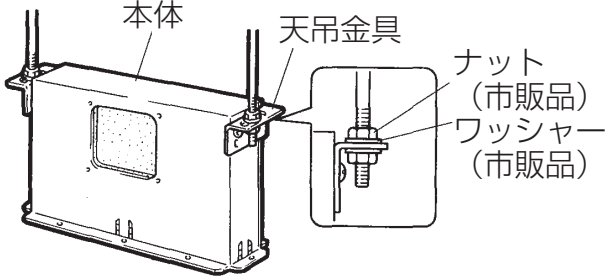
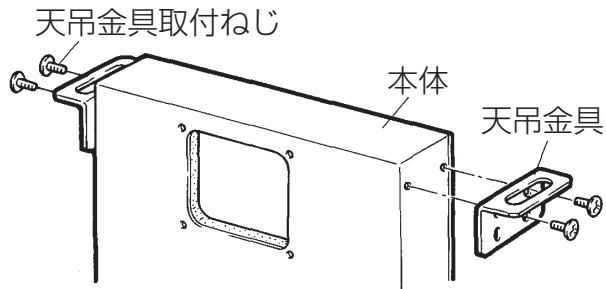
1. グリルを止めているねじ2本をはずしてグリルを取りはずす。
2. ダクト接続口の取付ねじ4本をはずし、ダクト接続口を取りはずす。

お願い

- 取りはずしたねじは、据付けの際に必要なのでなくさないよう保管しておいてください。

据付方法 つづき

2



本体の据付け

天吊金具を使用して据付ける場合

1. 外形寸法図を参照し、あらかじめ市販のアンカーボルト (M8またはM10) を埋め込む。
2. 付属の天吊金具を付属の天吊金具取付ねじ (4本) で本体に取付ける。
3. 本体が水平になるようアンカーボルトに天吊金具を差し込み、市販のワッシャー・ナットで固定する。

お願い

- 本体フランジ部下面が天井下面に対して左図のような範囲内に入るよう本体を固定してください。

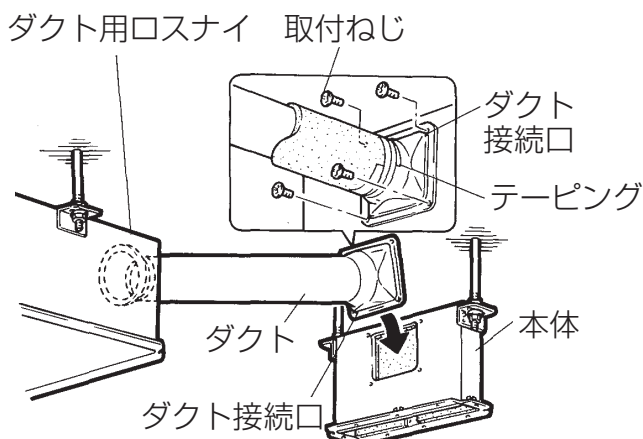
野縁に据付ける場合

1. 内寸が左図の寸法になるよう天井の野縁と補助野縁で取付枠を組む。なお野縁は45mmのものを使用してください。
2. 本体を野縁に差し込み、付属の木ねじで確実に固定する。

お願い

- 野縁に据付ける方法で据付けても強度が十分でない場合は、アンカーボルトで吊り下げる方法と併用してください。

3

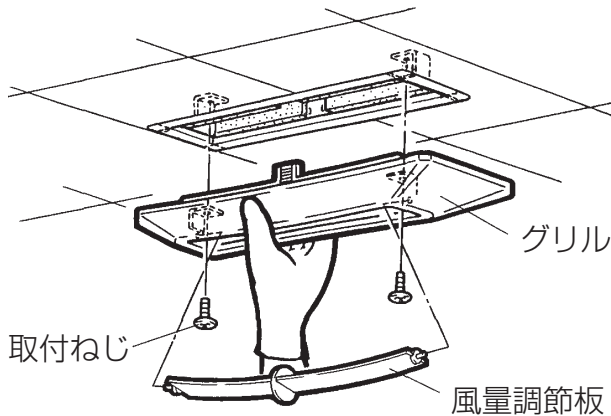


ダクト工事

1. すでにダクト用口スナイより配管してあるダクトの先端に取りはずしたダクト接続口を差し込み、ダクト接続口の取付ねじで本体に固定する。
2. ダクト接続は風漏れのないよう市販のアルミテープなどでテーピングする。
3. 結露防止のため断熱処理を施す。
4. ダクトは本体に力が加わらないよう天井より吊るす。

据付方法 つづき

4



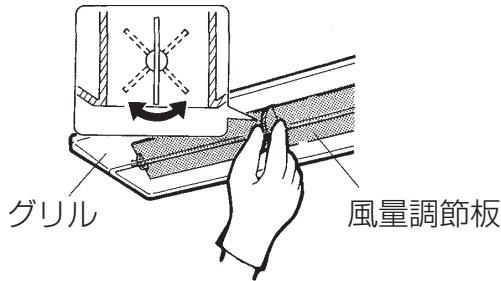
グリル・風量調節板の取付け

1. 取付ねじ2本でグリルを本体に固定する。
2. 風量調節板をグリル両端の穴に差し込み、固定する。（風量調節板を少したわませて差し込む）

お願い

- グリルの全周が天井に密着するようにグリルを取付けてください。

風量調節のしかた



グリル内にある風量調節板を回転させ、開口面積を調節してください。

回転させるには風量調節板の両端を押すか、中央のリングを持って操作してください。

（中央部を押すと回転しない場合があります）

お手入れ

グリル吸込口にほこりなどが付着しますと風量低下や異常音発生の原因になります。

約3か月に1度を目安として清掃してください。

■掃除機で表面のゴミ・ほこりを吸取ってください。汚れのひどい場合は中性洗剤を入れたぬるま湯（40℃以下）に浸した布をかたくしぼってかるく拭いてください。

注意



- グリルの取付けは確実に（落下によるけがの原因）
- お手入れの際は、手袋を着用する（端面などでけがの原因）

お願い

- 掃除機のノズルはグリルの表面に当てないでください。
- お手入れに下記の溶剤を使用しないでください。
シンナー、アルコール、ベンジン、ガソリン、灯油、スプレー、アルカリ洗剤、化学ぞうきんの薬剤、クレンザー等けんま材入りの洗剤（変質・変色する原因）

三菱電機株式会社

中津川製作所 〒508-8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号

この説明書は、再生紙を使用しています。